

平成23年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473400537	事業の開始年月日	平成17年2月1日	
		指定年月日	平成17年2月1日	
法人名	株式会社 アイシマ			
事業所名	グループホーム あいらんど			
所在地	( 246-0026 ) 神奈川県横浜市瀬谷区阿久和南4-11-2			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成23年6月15日	評価結果 市町村受理日	平成23年9月27日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1473400537&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1473400537&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

あいらんどでは入居者様の望む生活が継続できるよう、入居者様との会話や関わりを大切にしています。できる事の継続や力の見極めなど職員の観察力はその方の生活に大きな力となります。平成17年の開所以来、数名の方をお見送りしていきました。この間、医療との連携を学び入居者の方にとって何が最善のケアとなるのかと職員で話し合ってきました。幸いにも訪問看護師、主治医とは24時間連絡が取れるが体制が整えられており常に支援をいただける関係が確立しています。法人としては多機能的な運営の構築ができており、必要な時に必要なサービスを提供できる体制をとっています。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成23年7月29日	評価機関 評価決定日	平成23年9月2日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

ホームへは、相模鉄道線の「三ツ境駅」若しくは「いずみ野駅」より、神奈川中央交通バスで「かまくらみち」沿いの「新和入り口」停留所で下車すれば前にその建物を見ることが出来ます。横浜とは思えない程に広大な土地(主として畑地)が広がり、都会の雑踏とは無縁なのどかな雰囲気です。ホーム内にも畑地があり、そこで採集された野菜が食卓を飾ることもあります。ホームには、こうした地域や自然に触れ合いながらの、穏やかな普通の暮らしを守れる環境があります。ホームを運営する法人である「株式会社アイシマ」は、平成12年7月の設立以来、介護保険の関連事業を横浜市瀬谷区、旭区、泉区、そして隣の大和市を含め、数多くの事業を展開してきました。とりわけ、認知症対応型生活介護グループホームについては、ホームを含め17箇所運営しています。ホームでは、これまでに豊富なターミナルケアの経験があります。主治医、訪問看護ステーション、そして介護スタッフとの連携による医療的環境が、ホームでの看取りを可能にしています。これもまた、入居者・家族の安全・安心感に繋がっています。また、3月に発生した東日本大震災の経験は、ホームでの運営推進会議でも早速議題に上っています。自治会だけでなく、ホーム近隣の身近な住民の方達とのこれまで以上の交流が必要と認識されています。開設から約6年半、入居者も年ごとに重度化していく中、自分の力を活かし、マイペースで穏やかに、そして誇りを保ちながら、「いつまでも心地よく暮せる」ホームづくりを念頭に、運営者・管理者及び職員が一体となって取り組んでいます。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム あいらんど
ユニット名	つき

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員は常に理念を念頭におき利用者に接しています。職員の役割を考えた理念を今年度は作りました。心地よく過ごしていただくために、職員は理念を共有し、実施しています。新職員には入職時に説明を行っています。玄関、台所、事務所に掲示し職員に周知を図っています。	法人の理念の中には、「地域密着主義」・「各施設主体主義」が謳われています。これに則り、当ホーム独自の理念を掲げています。入居者がいつまでも心地よく暮せるよう、安心出来る生活の提供、信頼関係の構築、職員の感性を磨くこと、即ち「安」「信」「感」です。	
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の一員として総会、行事、親睦会に出席しています。回覧版がまわり、地域の活動を知ります。自治会の清掃、納涼祭、グランドゴルフなどお誘いを受け、積極的に参加しています。毎月、役員会があり事業所会員として参加しています。	地域とのつながりの大きな役割を果たす自治会に、これまで地域の一員として積極的に関わってきました。特に、回覧板によって地域で今何が起きているのかを知る機会となり、また、ホームや法人がどのような活動を行なっているのか知って貰う機会にもなっています。	
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	定期的開催される運営推進会議や自治会役員会で事業所の説明や活動内容の報告、支援方法をお伝えしています。消防訓練では職員が対応している様子を見学し、認知症の方への理解や支援方法を知っていただきます。		
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月年6回実施しています。活動の評価や自治会の回覧版を通じてホームと法人の活動を地域に知らせるという方法を提案してくださいました。大規模災害の対策について検討していく予定です。	入居者・家族代表とホーム及び法人関係者で開催される会議には、自治会代表者、民生委員、地域包括支援センター職員等、地域の主要な関係者が参加しています。主としてホームの業務内容報告ですが、防災対策など貴重な意見を記録に残すだけでなく有効に活用しています。	
5	4	<b>市町村との連携</b> 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者とは密に連絡を取り、利用者の様子などを伝えています。入居時、疎遠になっていた家族との連絡に協力をいただいています。また、運営推進会議のオブザーバーとして協働できることを話し合っています。GH連絡会、市区主催の研修にできるだけ参加して情報の共有にも努めています。	区の介護保険課、高齢者支援担当、さらに入居者の中には担当ケースワーカーの関与もあり、日常的に連携をとっています。このため、ホームの実情を知って貰える機会となっています。また、委託を受けてホーム内で介護教室を開催するなど、市町村と協力関係を築いています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する法人独自のマニュアルを作成し、職員には研修やカンファレンスを通じて周知を図っています。施錠については入居者の様子を見ながら、身の安全が図られていることを前提として開錠しています。サッシを網戸にする、不穩が見られないときは出入り口、玄関は開錠しています。言葉使いチェックシートを活用し、言葉による拘束の防止に努めています。	身体拘束による弊害の理解を周知徹底しています。生命の安全確保を原則に、言葉による拘束も含め、心地よく暮せるためのケアに取り組んでいます。不安が何故起きるのか？その理由を理解しつつ、入居者一人ひとりの心身状態を正確に把握し、「見守り」を重視しています。	
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内の勉強会や外部の研修に参加し、虐待について学ぶ機会を設けています。職員は法人独自のマニュアルや研修資料等で理解を深め対応に努めています。言葉使いのチェックシートを活用し、言葉による虐待の防止に努めています。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は市区町村やグループホーム協会等で開催する権利擁護に関する制度の研修には出席できる機会を設けています。また、入居者の方が制度を活用できるように支援します。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には利用者と家族の不安、疑問にその場で回答しています。理解、納得できるように説明を行います。解約または料金改定等利用者や契約内容に変更が生じた時には法人からのお知らせと管理者からの説明を行い、理解を図っています。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に2回、家族会を開催しており、意見交換をしています。入居者の方からは日常の会話から意見、要望を伺うようにしています。ホームへの要望などは玄関に設置してある意見箱を利用いただいています。苦情については契約時に外部苦情申し立て機関をお知らせすると共に、掲示物などで苦情相談窓口を明確にしています。	契約の重要事項説明時に、苦情相談担当者や苦情申立機関の連絡先及び仕組みの情報提供を行っています。家族会や意見箱で寄せられる意見の中に、避難時に必要な車イスの配置の要望がありました。これを早期対応により解決して、家族との信頼関係がさらに深まりました。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回、ホーム会議をとユニット会議を行い、職員から業務に関する提案や要望を聞く機会を設けています。管理者、主任は小さな変化にも気づけるようにコミュニケーションをとることを心掛けています。状況に応じて施設部 部課長にも相談をしています。	通常、日々の申し送りやスタッフ・ミーティングの際に、職員の意見や提案を聴く機会にしていますが、定期的に行われるユニット会議やホーム会議でも職員の意見が活発に出されます。職員間のチームワークで心地よく暮せるホームを築く、との思いが反映されています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得中の受講生に対しては受講日を休日にあて参加できるように勤務の調整を行い支援しています。資格取得により資格手当がつき、やりがいにつながるシステムが整っています。法人内の勉強会、看護部研修会などスキルアップの機会を設けています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に1回、管理者とユニット長は法人の管理者研修に参加しています。管理に必要な研修を講師を交え学んでいます。月1回の社内勉強会では認知症だけに限らずケア全般の知識を学び、看護部主催の認定看護師による講演会にも参加しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市、区が開催するグループホーム連絡会に参加しています。管理者とのつながりやホーム運営やサービス向上につながる意見交換を行っています。交換研修では職員が研修先のホームで学んだ事や気づきを自ホームに活かしています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に本人と面接を行い、細かな点の把握、不安な点などを聞き解決に向け対応しています。ホーム見学を企画し、ホームの雰囲気を見て頂きます。他の施設と比較して、ご本人にとってどこが最適か家族とご本人と検討していきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に家族と面接を行います。細かな点の把握をしています。不安な点を聞き改善に向け対応していきます。ホーム見学を企画し、ホームの雰囲気を見て頂きます。幾度かの相談を繰り返し、納得していただける信頼関係を築いていきます。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お話を伺い、協力機関のサービス利用も踏まえて職員間で検討します。特に入所1カ月間位は環境の変化で落ち着かないことが多いため、全体を見ながら支援、対応をしています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護する側、介護される側という意識は持たず、常に尊重することを心がけます。語らいの時間を設け、共に笑い、共に考え、お互いが信頼できる関係を築いています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には面会時や一行日記を利用し、ご本人様の様子を伝えていきます。ご家族が協力していただける事柄は積極的に受け入れています。ご本人様の支援につながることをご家族と考えます。定期的にご家族から電話をしていただく計画も取り入れています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前からの習慣でスーパーへの買い物など楽しみにしている方は職員とスーパーへ行き、ほしい物を購入をされています。また、遠方からの来所やお弟子さんの来所など関係の継続が途切れないよう支援しています。	これまで、元職場の友達との山登りのお手伝いをしたり、元自宅への帰宅を手助けするなど、親しかった人に会いたい、また、懐かしい場所へ行きたい、という入居者の希望が叶えられるよう支援してきました。これも、いわゆる「回想法」の一種だと職員は認識しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士でトラブルにならないよう、お互いの性格、好みを把握し、トラブルの発生を回避していきます。入居者の関係性に配慮し、支えあう関係を支援しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方がいらっしゃいます。退去後もご家族とホームに訪問してくださり、入居者の方と楽しい時間を過ごされていらっしゃいます。また、亡くなられた方のご家族がまだ入居を継続されています。入居者様、ご家族様が悔いのない生活が出来るように支援していきます。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員との日常的な会話からご本人さまの望む生活をお伺いします。また、ご家族の意向も大切にしながら入居者様の生活に活かせるよう意向の把握に努めています。困難な場合は今までの生活の様子から推測し苦痛や不快のないよう努めています。	職員は入居者一人ひとりの、日常の会話は勿論のこと、それが困難であったとしても、顔の表情や声の調子、そして仕草から、思いや意向の把握に努めています。事業所の理念の一つである「感」、感じとる力の実践です。これが「信」、信頼できる関係にやがて繋がります。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の生活環境を把握し、ご本人からアセスメントをとります。今後も継続していきたいサービスなどをうかがいながら個々のニーズに対応していきます。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日勤帯と夜勤帯で個人の記録を残しています。健康状態や心身の状態、活動など記録をしています。食事摂取量や会話の内容や声の大きさなどに視点を置いています。主治医や訪問看護師の指示等、情報の共有やケアの統一を図ることにより、現状の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>日常生活の出来事の中から課題点やニーズを見つけていきます。月一回のケアカンファレンスで話し合います。医療関係や家族からの要望を聞き反映された介護計画を作成しています。</p>	<p>詳細に記述された「アセスメント表」や「概況調査票」、及び実施日や修正の要非が記載された「モニタリング・シート」を参考に、カンファレンスを経て計画の策定を行なっています。見直しの期間を守りつつ、安易に計画を継続しないよう心掛けています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>各入居者のケースファイルに個々の介護計画の実施状況を記録しています。実施の結果も記録し、介護計画の見直しに活かしています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>協力医療機関と連携をとっており、内科医、精神科医、歯科医、訪問看護師の定期訪問があります。状態悪化時には救急指定病院や関連医療機関への連絡・調整が可能となっています。状況に応じて介護タクシーの利用や無償で入浴サービスを受けることが可能です。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>自治会内に同法人の施設があります。運営推進会議や利用者同士の趣味を通じて施設間の関係を構築し、有意義な生活が営めるように支援してまいります。ケアプラザの「ケアプラカフェ」に参加しています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人や家族の希望に応じて対応しています。利用契約時に希望するかかりつけ医の有無を確認しています。当ホームの協力医療機関の説明も行って、ご本人や家族の判断で主治医をきめています。</p>	<p>かかりつけ医については、本人や家族の意向を尊重しています。特に希望のない場合や、様々な事情で変更したい場合には、法人関連の医師を紹介しています。月2回のかかりつけ医の訪問があり、入居者の健康管理に当たっており、介護と医療・看護の連携が図られています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護との契約に基づき、入居者の日頃の健康管理や身体についての相談やアドバイスを受けることができます。週に1回の定期訪問を受けています。24時間連絡体制をとっているため急変時にも的確な指示をうけることができます。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関と情報交換を行い、入院や退院の流れ、方法を統一しスムーズに対処できるように連携をとっています。ホームで対応可能な段階で早期退院に努めています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「重度化した場合における対応に係る指針」の説明文と同意書があります。主治医の判断で訪問看護、ご本人、家族、管理者で話し合いを行います。ご本人と家族の望むこと、ホームでできることを明確に伝え方針を共有します。	これまで看取りを行った経験が豊富にあり、職員の終末期ケアに対する意識の共有が図られています。入居契約時に「重度化した場合における対応に係る指針」を説明し、同意を得るようにしています。また、重度化の段階に応じて、その都度方針の共有を図っています。	
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の法人独自のマニュアルで連絡手順や緊急対応を理解しています。電話の近くに掲示してすぐに対応できるよういしています。また、定期的に緊急事態に備えて通報訓練を行っています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回消防訓練を行っています。夜間想定避難訓練や地震想定訓練を行っています。一時避難場所の確認、地域への協力を自治会総会や運営推進会議で伝えていきます。入居者18人分の災害用非常食をホームで3日分、法人で3日分を用意しています。	前回の外部評価では検討課題であった、災害時における3日分の非常食や備品の備蓄については、法人の協力により課題をクリアしました。防災訓練では消防署も立会いのもと、避難に要する時間を計測するなど、利用者の安全をさらに追求、確保する取り組みをしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員入職前に業務説明を行っています。個人のプライバシーや個人情報保護について説明しています。記録類は事務所に保管し、個人情報が記載されている書類は目に触れないよう指導しています。社内に関する研修では接遇チェックシートを活用し、自己の接遇を振り返っています。	言葉遣いや接遇に関するチェックシートを使用し、研修やカンファレンスを行なうことによって、入居者のプライドやプライバシーに配慮した対応が、職員全員に周知徹底されています。また、法律を遵守し、入居者の個人情報に関するファイルも適切に管理されています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの生活リズムを尊重しています。体調に合わせて自身で決めていただきます。散歩、入浴、趣味など自発的に活動ができるように働きかけています。機能回復のためにリハビリに通われている入居者もいらっしゃいます。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日のスケジュールは決めておらず、体調や気分分に配慮し、思いや希望に沿って活動をしていただきます。趣味の塗り絵をされる方、音楽を聴かれる方、居室でのんびりと過ごされたい方と想いおもいの生活をされています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1回、訪問理容を利用されています。ご希望の髪形を注文していただきます。外出時には季節に合った服を職員と一緒に選びます。また、整容もご自身でできることはやっただきながら支援しています。電気シェーバーなどは事務所で充電、保管しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事形態は入居者にあったものを用意しています。咀嚼力や嚥下の様子、摂取の様子を見えています。極力、好みにあった物を用意し食事が進むように支援しています。座って食器拭きや野菜の下処理、片づけなど無理のない程度に、職員と行っています。法人で経営している中華レストラン「風の音」に月に一回出かけています。	庭の畑で採れた新鮮な野菜を使い、入居者の好みに合った料理で季節の味を楽しんでいます。入居者はリビングに集い食事の下ごしらえを手伝い、職員と一緒に楽しく食事の一時を過ごします。月に1度はグループのレストランで、入居者一人ひとりが好みのメニューで外食を楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量、水分摂取量のチェック表があり、一人ひとりの摂取量を把握しています。食事の形態やその方にあった摂取方法を考え提供しています。とろみ粉の使用や状態に合わせた介助の方法を検討し支援しています。管理栄養士による定期的なチェックを行っています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>ご本人の習慣を中心に口腔内の清掃を行っています。専用の歯磨きセットを用意し、食後は口腔ケアの声掛けを行っています。週に1回の訪問歯科では口腔内のチェックや気になる所を相談しています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄の失敗を減らすために定時誘導を行っています。排泄パターンを把握し、スムーズに行えるように見守りや声掛けを行っています。また、日中は紙パンツへ移行しご自身の意思でトイレへ行くことができるように支援しています。</p>	<p>排泄チェック表により入居者の排泄パターンを把握し、生活リズムに沿ってトイレ誘導を行い、入居者のペースに合った排泄介助を心掛けています。退院時オムツをしていた入居者が、適切なトイレ誘導でオムツを外すことが可能になり、歩けるようになった事例があります。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>適度な運動や食物繊維の摂取などを心掛けています。水分摂取量を記録し、こまめに水分補給をしています。起床後に乳飲料を飲んでいただくなど排便を促す方法もとっています。家族からの要望で指定された飲料を飲まれている方もいらっしゃいます。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>その日の体調を考慮し入浴を勧めています。ご自分の生活リズムや気分に合わせて入浴を楽しんでいただいています。湯船につかりたい、シャワーで済ませたい、～時に入りたいなど希望に沿って入浴の支援をしています。また、身体状況に応じて法人内の訪問入浴を無償にて利用することが明文化されました。</p>	<p>入浴は入居者が希望すれば毎日でも可能です。庭で実った柚子を入れて格別の柚子湯を楽しみます。入浴の時間も入居者のその時の気持ちに沿って、湯船にゆっくりつかったり、シャワーだけにしたりと様々です。重度の入居者は法人の訪問入浴サービスを無料で利用することができます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でも休めるように、休息の時間を設けています。夜間に差し支えない程度に。身体の状態によっては主治医、看護師に相談し、安眠ができるように支援しています。就寝前に20～30分の足湯を実施し安眠ができるようになった方もいます。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者のファイルには「服薬リスト」を入れてあります。リストには作用や副作用も記載しており、全職員が確認することができます。新薬の開始、服薬中止の場合は医師からの説明や留意点について申し送りやミニカンファレンスにて周知しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入所前からの趣味や得意なことが継続できるように支援しています。人の為に役に立ちたいという気持ちから自発的に家事手伝いをしてくださる方や新聞を取りに行くことが日課のかたもいます。また、ボランティアの協力を得て趣味を続けています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には散歩に出かけています。長距離を歩きたい方には1対1で散歩に出かけ、庭に生っている金柑を収穫したい方、外気浴がしたい方、要望に応じて支援しています。また、家族からの依頼で介護タクシーの予約など行っています。定期的に行われている音楽療法、食事会へは同法人のレストランへ外出しています。	散歩やスーパーへの買い物によく出かけます。近くの公園で犬などの動物とのふれあいを楽しんだり、グループ合同のふれあい祭りに入居者がこぞって参加したり毎月の行事を楽しんでいます。また、自治会行事の応援子ども大会に参加し、子どもたちとのふれ合いを楽しんだりしています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には法人でお金を管理しています。ホームにて一時立替払いをし、月々のサービス利用料と共に請求しています。ご本人の要望によっては個人管理をしていただき小遣い帳をつけ現金の使い道が明確になるようにしています。嗜好品や生活用品などごスーパーで購入される方もいらっしゃいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人が希望されれば、深夜、早朝でない限り電話をかけていただいています。手紙のやりとりは頻繁ではありませんが疎遠になっているご家族に手紙を出した方がいらっしゃり、ご家族の近況を知ることができました。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂テーブルの配置や席を変え、入居者同士の関係を良好に保つなど随時工夫しています。常に音楽を流すことにより穏やかな状態を保っていただいています。天候や外気温によっては空調などで温度調節を行い身体に負担のないようにしています。	リビングは明るく、大きな窓ガラスにはフィルムをはり地震等の災害でも安全です。テーブルの配置や通路の手摺など転倒しないように配慮し、また、トイレや浴室も清掃が行き届いて清潔です。通路の壁には書道の作品が飾られ、各種行事の写真には入居者の笑顔があふれています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	普段は誰も使用していない畳部屋がリビング隅にあります。使い方は様々で特に制限はなく使用していただけます。ターミナルを迎えた方は目の届く所で、過ごしていただいています。リビングのソファは2人掛けと3人掛けの2台をおき、会話を楽しむかた、テレビをご覧になる方と様々です。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には使い続けている生活用品を持参していただいています。使い慣れたベッドなど馴染みの物や家具を配置することにより混乱を防ぎ落ち着いて過ごせるようにしています。時にはご家族が整理整頓してくださり、ご本人様も満足されています。	居室は入居者が馴染みのものを持ち込んで、それぞれに特徴があります。家族の写真やタンス、仏壇を置いたり、テレビやエレクトーン置いている入居者もいます。「ここでは好きな事が出来る」と喜んで入居者がいます。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	壁面には見やすい手作りカレンダーを飾っています。毎日入居者が日にちを変えています。食器類は安全を考え、入居者の手の届く場所に収納しています。お一人でも出し入れが楽に行えるようにしています。		

事業所名	グループホーム あいらんど
ユニット名	ほし

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員は常に理念を念頭におき利用者に接しています。職員の役割を考えた理念を今年度は作りました。心地よく過ごしていただくために、職員は理念を共有し、実施しています。新職員には入職時に説明を行っています。玄関、台所、事務所に掲示し職員に周知を図っています。		
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の一員として総会、行事、親睦会に出席しています。回覧版がまわり、地域の活動を知ります。自治会の清掃、納涼祭、グランドゴルフなどお誘いを受け、積極的に参加しています。毎月、役員会があり事業所会員として参加しています。		
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	定期的開催される運営推進会議や自治会役員会で事業所の説明や活動内容の報告、支援方法をお伝えしています。消防訓練では職員が対応している様子を見学し、認知症の方への理解や支援方法を知っていただきます。		
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月年6回実施しています。活動の評価や自治会の回覧版を通じてホームと法人の活動を地域に知らせるという方法を提案してくださいました。大規模災害の対策について検討していく予定です。		
5	4	<b>市町村との連携</b> 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者とは密に連絡を取り、利用者の様子などを伝えています。入居時、疎遠になっていた家族との連絡に協力をいただいています。また、運営推進会議のオブザーバーとして協働できることを話し合っています。GH連絡会、市区主催の研修にできるだけ参加して情報の共有にも努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する法人独自のマニュアルを作成し、職員には研修やカンファレンスを通じて周知を図っています。施錠については入居者の様子を見ながら、身の安全が図られていることを前提として開錠しています。サッシを網戸にする、不穩が見られないときは出入り口、玄関は開錠しています。言葉使いチェックシートを活用し、言葉による拘束の防止に努めています。		
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内の勉強会や外部の研修に参加し、虐待について学ぶ機会を設けています。職員はホームマニュアルや研修資料等で理解を深め、対応に努めています。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は市区町村やグループホーム協会等で開催する権利擁護に関する制度の研修には出席できる機会を設けています。また、入居者の方が制度を活用できるように支援します。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には利用者と家族の不安、疑問にその場で回答しています。理解、納得できるように説明を行います。解約または料金改定等利用者や契約内容に変更が生じた時には法人からのお知らせと管理者からの説明を行い、理解を図っています。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に2回、家族会を開催しており、意見交換をしています。入居者の方からは日常の会話から意見、要望を伺うようにしています。ホームへの要望などは玄関に設置してある意見箱を利用いただいています。苦情については契約時に外部苦情申し立て機関をお知らせすると共に、掲示物などで苦情相談窓口を明確にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回、ホーム会議をとユニット会議を行い、職員から業務に関する提案や要望を聞く機会を設けています。管理者、主任は小さな変化にも気づけるようにコミュニケーションをとることを心掛けています。状況に応じて施設部 部課長にも相談をしています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得中の受講生に対しては受講日を休日にあて参加できるように勤務の調整を行い支援しています。資格取得により資格手当がつき、やりがいにつながるシステムが整っています。法人内の勉強会、看護部研修会などスキルアップの機会を設けています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に1回、管理者とユニット長は法人の管理者研修に参加しています。管理に必要な研修を講師を交え学んでいます。月1回の社内勉強会では認知症だけに限らずケア全般の知識を学び、看護部主催の認定看護師による講演会にも参加しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市、区が開催するグループホーム連絡会に参加しています。管理者とのつながりやホーム運営やサービス向上につながる意見交換を行っています。交換研修では職員が研修先のホームで学んだ事や気づきを自ホームに活かしています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前には見学をして頂き、ホームの雰囲気を見ていただきます。そこで感じたこと、疑問に思うこと等を話し合い、不安を解消していきます。本人の要望は最大限に受け入れています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前にはご本人と一緒に見学をして頂き、ホームの雰囲気を感じ取っていただきます。ご家族の不安、要望等をおたづねし、不安解消、要望受け入れに努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所後は環境の変化で精神的に落ち着かないことが多いため、多くの時間を共に過ごし、些細なことでも職員間で話し合い、必要としている支援を見極め対応しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護される側、する側ではなく人生の先輩との共同生活と捉え、時には職員が学ばせて頂いています。語らいの時間を多く設け、日常の情報（最近では特に震災）について共に考え信頼関係を築いています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族とは面会や電話で話し合い、一行日記を通じて共に本人を支援していくことを確認しています。家族からの要望にはできる限りの対応をしています。行事等の参加の働きかけも行き一緒に楽しい時間が持てるように支援しています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	不定期ではありますが自宅に戻り数時間過ごしてこられる利用者がいます。自宅に戻ると近隣者とのふれあいもあり、記憶が戻ってくるようです。他に、友人との関係が継続できるように電話連絡がある時は面会を勧めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士でトラブルにならないよう、お互いの性格、好みを把握し、トラブルの発生を回避していきます。入居者の関係性に配慮し、支えあう関係を支援しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	時間がだいが経過した後も、お亡くなりになられた家族からお手紙を頂くことがあり、必ず返信をして関係を保っています。最近の出来事では、数年前の遺品から現金が発見され家族にお送りしたところ、懐かしくお互い故人を思い出し涙しました。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	何気ない日常会話の中から、悩みや希望を見つけることが出来るよう努めています。介護計画を立てる際は本人に希望を聞いています。意思疎通の困難な場合は、家族から本人の意向を引き出すか、または職員とカンファレンスを行い検討しています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の生活環境を把握し、ご本人からアセスメントをとります。今後も継続していききたいサービスなどをうかがいながら個々のニーズに対応していきます。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日勤帯と夜勤帯で個人の記録を残しています。健康状態や心身の状態、活動など記録をしています。食事摂取量や会話の内容や声の大きさなどに視点を置いています。主治医や訪問看護師の指示等、情報の共有やケアの統一を図ることにより、現状の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>日常生活の出来事の中から課題点やニーズを見つけていきます。月一回のケアカンファレンスで話し合います。医療関係や家族からの要望を聞き反映された介護計画を作成しています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>各入居者のケースファイルに個々の介護計画の実施状況を記録しています。実施の結果も記録し、介護計画の見直しに活かしています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>協力医療機関と連携をとっており、内科医、精神科医、歯科医、訪問看護師の定期訪問があります。状態悪化時には救急指定病院や関連医療機関への連絡・調整が可能となっています。状況に応じて介護タクシーの利用や無償で入浴サービスを受けることが可能です。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>自治会内に同法人の施設があります。運営推進会議や利用者同士の趣味を通じて施設間の関係を構築し、有意義な生活が営めるように支援してまいります。ケアプラザの「ケアプラカフェ」に参加しています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人や家族の希望に応じて対応しています。利用契約時に希望するかかりつけ医の有無を確認しています。当ホームの協力医療機関の説明も行って、ご本人や家族の判断で主治医をきめています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護との契約に基づき、入居者の日頃の健康管理や身体についての相談やアドバイスを受けることができます。週に1回の定期訪問を受けています。24時間連絡体制をとっているので急変時に的確な指示をうけることができます。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関と情報交換を行い、入院や退院の流れ、方法を統一しスムーズに対処できるように連携をとっています。ホームで対応可能な段階で早期退院に努めています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「重度化した場合における対応に係る指針」の説明文と同意書があります。主治医の判断で訪問看護、ご本人、家族、管理者で話し合いを行います。ご本人と家族の望むこと、ホームでできることを明確に伝え方針を共有します。		
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のホームマニュアルで連絡手順や緊急対応を理解しています。電話の近くに掲示してすぐに対応できるようにしています。また、定期的に緊急事態に備えて通報訓練を行っています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回消防訓練を行っています。夜間想定避難訓練や地震想定訓練を行っています。一時避難場所の確認、地域への協力を自治会総会や運営推進会議で伝えていきます。入居者18人分の災害用非常食をホームで3日分、法人で3日分を用意しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員入職前に業務説明を行っています。個人のプライバシーや個人情報保護について説明しています。記録類は事務所に保管し、個人情報が記載されている書類は目に触れないよう指導しています。社内に関する研修では接遇チェックシートを活用し、自己の接遇を振り返っています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に声かけを行い自然に希望を表せるよう支援しています。レクリエーションにおいても自己決定できるように2種類以上の選択肢を用意しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日のスケジュールは決めておらず、体調や気分分に配慮し、思いや希望に沿って活動をしていただきます。趣味の塗り絵をされる方、音楽を聴かれる方、居室でのんびりと過ごされたい方と想いおもいの生活をされています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1回、訪問理容を利用されています。ご希望の髪形を注文していただきます。外出時には季節に合った服を職員と一緒に選びます。また、整容もご自身でできることはやっています。電気シェーバーなどは事務所で充電、保管。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事形態は入居者にあったものを用意しています。咀嚼力や嚥下の様子、摂取の様子を見ています。極力、好みにあった物を用意し食事が進むように支援しています。座って食器拭きや野菜の下処理、片づけなど無理のない程度に、職員と行っています。法人で経営している中華レストラン「風の音」に月に一回出かけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量のチェック表があり、一人ひとりの摂取量を把握しています。食事の形態やその方にあった摂取方法を考え提供しています。糖尿病の利用者には白滝を使用してご飯の量を増やしています。管理栄養士による定期的なチェックを行っています。		
42		<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご本人の習慣を中心に口腔内の清掃を行っています。専用の歯磨きセットを用意し、食後は口腔ケアの声掛けを行っています。週に1回の訪問歯科では口腔内のチェックや気になる所を相談しています。		
43	16	<b>排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の失敗を減らすために定時誘導を行っています。排泄パターンを把握し、スムーズに行えるように見守りや声掛けを行っています。また、季節柄蒸れないように紙パンツから綿パンツに移行した利用者がいます。		
44		<b>便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適度な運動、食物繊維や発酵食品の摂取などを心掛けています。水分摂取量を記録し、こまめに水分補給をしています。起床後に乳飲料を飲んでいただくなど排便を促す方法もとっています。		
45	17	<b>入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の体調を考慮し入浴を勧めています。ご自分の生活リズムや気分に合わせ入浴を楽しんでいただいています。湯船につかりたい、シャワーで済ませたい、～時に入りたいなど希望に沿って入浴の支援をしています。また、身体状況に応じて法人内の訪問入浴を無償にて利用することが明文化されました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でも休めるように、休息の時間を設けています。夜間に差し支えない程度に。就寝時間は利用者のペースに任せ、季節に応じた温度調節をするよう心がけ、時間ごとの巡回を行う等安心して眠れるよう支援しています。梅雨時は時間で厚がけ薄がけの調節をしています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者のファイルには「服薬リスト」を入れています。リストには作用や副作用も記載しており、全職員が確認することができます。新薬の開始、服薬中止の場合は医師からの説明や留意点について申し送りやミニカンファレンスにて周知しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入所前からの趣味や得意なことが継続できるように支援しています。人の為に役に立ちたいという気持ちから自発的に家事手伝いをしてくださる方、ピアノや書道の個人レッスンを受けている方もおります。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には散歩に出かけていますが、1年前には公園まで歩行可能であった方が今年加齢に伴い、車椅子での散歩になりました。定期的に行われている音楽療法、食事会へは同法人のレストランへ外出しています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には法人でお金を管理しています。ホームにて一時立替払いをし、月々のサービス利用料と共に請求しています。ご本人の要望によっては個人管理をしていただき小遣い帳をつけ現金の使い道が明確になるようにしています。嗜好品や生活用品などごスーパーで購入される方もいらっしゃいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	書くことが好きな方はまとめて何通ものはがきを書き、職員がそれを預かり投函しています。返信がなく心配なときは職員が電話で様子を伺っています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂テーブルの配置や席を変え、入居者同士の関係を良好に保つなど随時工夫しています。常に音楽を流すことにより穏やかな状態を保っていただいています。天候や外気温によっては空調などで温度調節を行い身体に負担のないようにしています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	普段は誰も使用していない畳部屋がリビング隅にあります。使い方は様々で特に制限はなく使用していただけます。ターミナルを迎えた方は目の届く所で、過ごしていただいています。リビングのソファは2人掛けと3人掛けの2種類をおき、会話を楽しむかた、テレビをご覧になる方と様々です。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には使い続けている生活用品を持参していただいています。馴染みの物や家具を配置することにより混乱を防ぎ落ち着いて過ごせるようにしています。仏壇を持ち込まれた方は時々手を合わせ拜んでいます。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	壁面にはホワイトボードを設置しており、月間予定が記入されています。その日の予定を入居者と確認し合うことによって、コミュニケーションをとっています。食器類は安全を考え、入居者の手の届く場所に収納しています。お一人でも出し入れが楽に行えるようにしています。		

## 目標達成計画

作成日: 平成 23年 9月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		月に1回の外食(法人経営レストラン)、月2回の音楽療法での外出は行われています。毎月の行事(カラオケ他)や季節行事の外出で戸外には出ますが、入居者様個々の希望に沿った外出支援は現状としては少ないと思います。	現在は入居様の1/3位が戸外の行きたいところに出かけています。(自己評価 アウトカム項目の結果より)この数値を2/3にしていきます。	各入居者様に希望の外出先を伺います。ご家族への相談、了解を得られたら計画表を作成します。月に1~2名の入居者様を計画していきます。	12ヶ月
2		家族とのコミュニケーションの質について・・・年2回の家族会、施設行事への招待、面会時の会話、一行日記の送付等でコミュニケーションを図る努力はしていますが、全ての家族との信頼関係を構築には至っていません。	自己評価 アウトカム項目 63 の「家族の困っていること、不安なこと、求めていることを～」では2/3の家族との信頼関係ができています。できれば、ほぼ全ての家族との信頼関係を築くことができるようにしていきたいです。	家族会の希望参加日を予め伺い、余裕を持った日程を組んでいきます。家族会は行事と組み合わせ開催します。一行日誌は家族の希望する内容を中心に記入し、充実した日記内容にしていき、入居者様の様子をお伝えしていきます。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。